

## 牧師、バイカー、鮫職人として。。。シェア from LA 第21話「アメリカで教会を法人化する」Part 5 武曾氏との問答③

それから武曾氏は話を続け、彼の口から衝撃的な言葉が飛び出した。

カレ：実はボク、サンフランシスコに不動産を持ってるのですが、その物件を教会に貸してるんです。

ボク：何ですって?! 教会に? 真宗のあなたが?

カレ：ええ、まあ。

ボク：日本人の教会ですか?

カレ：いえ、黒人の教会です。

ボク：えー! 日本人で真宗のあなたが黒人教会に物件を貸す?! それはスゴイ!

彼らはどんな人たちなんですか?

カレ：とても素晴らしい人たちです。貧しいにもかかわらず、困った人たちに手を差し伸べ、ホームレスの人たちに食事や住居を提供するなど、本当に良い人たちですよ。

ボク：ん〜、そんなんで家賃をちゃんと払って貰えてますか??

カレ：(頭をかきながら) それがあ。。ここ6カ月ほど滞納してるんです。

ボク：えー! やっぱりそうなっちゃったんだ。大変だ そりゃ。じゃどうするんですか?

カレ：いやあ、分かんないですえ。とにかく良い人たちなので追い出したくないんですよ。

ボク：いや本当に素晴らしい! 武曾さん、あなたは神さまに本当に祝されてますよ!

カレ：いえ、僕なんかとても。初めて古林さんにお会いして、あなたが困っている人を助けたりしてるのをお聞きした際に、「何だか彼らと似た事してる人がいるな〜」と思ったんです。しかもこんな近所で日本人の方がそうしてるのを聞いて驚きましたね。

そう言えば、彼と初めて会って法人登記や税法上の説明を受けた際、法人化に必要な情報、つまり教会と私個人の具体的活動を色々聞かれたことがあった。彼はそれを覚えていたのだ。

そして彼は、「だから私は、『この人だけは何としても助けたい』と思ったんです」とボツリ。

ああ何と恐れ多い評価だろうか。思わず天を見上げ涙ぐんだ。あの頃の教会は何もまだ整っていない状態であるにもかかわらず、無料で葬式の奉仕をしたり(5話参照)、ホームレスの日本人男性が転がり込んで来たり、教会予算を賄うために新しい鮫屋で働き始めたりとバタバタしていた。何も実がならない鬱陶しい日が続いた。しかしその全てはこの為だったのだ。人に仕えることが神に仕えることであることを今さらながら思い知った。ここで前回の1/10 献金の“使い道”問答について もう一つ重要なことを思い出す。それは

「その年の収穫の十分の一を全部持ち出し、あなたの町囲みのうちに置いておかなければならない。あなたのうちにあつて相続地の割り当てのないレビ人や、あなたの町囲みのうちにいる在留異国人や、みなしごや、やもめは来て、食べ、満ち足りるであろう。あなたの神、主が、あなたのすべての手のわざを祝福して下さるためである。」

申命記 14章 28-29節

ことだ。献金というのは決して団体の維持や職員の給料だけに使われるべきものではない。人を助けるためのものでもあるのだ。そして喜んで捧げる者を神は豊かに祝して下さる。

1-18-2020

